

# 3 高等学校編

「MAPは高校では使えない」という言葉を耳にしますが、それは生徒の実態に即した活動になっていないからだと思います。生徒の発達段階を考慮に入れずに、アクティビティ中心の授業を行うことがMAPではありません。GRABBSを引き合いに出すまでもなく、それぞれの対象に適した取組が必要とされます。

そこで、【高等学校編】ではMAPのもつゲーム的要素ではなく、むしろその考え方や手法を取り入れた授業事例を紹介し、普段の授業にちょっとしたエッセンスを加えるだけで十分MAPとなることを説明したつもりです。

言うまでもないことですが、ここに示す事例は一つのサンプルですので、同じことをやっても同じ結果になるわけではありません。しかし、考え方のヒントにはなるとと思います。皆さんの普段の授業の参考にしていただければ幸いです。